

特集 模試の有効活用法

成績返却後の反省こそ大事

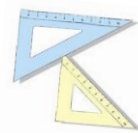
— 正しく自己を分析し 次に向けて行動を起こそう —

例年以上に短い夏休みが終わりました。それぞれどんな時間を過ごしてきたでしょうか？いよいよ、今年度の大学入試に向け、共通テストの出願など、さまざまな準備を本格的に始める時期になりました。これらの動きについては、3年生だけでなく、下級生にも注目をしてほしいと思います。そして、3年生になる前に基礎的な大学受験の方法を学んでおくことは大切です。

さて、まもなく、6月末に全学年で実施した「進研記述模試」の結果が返却されてきます。模試の結果は受け取って終わりではありません。むしろ、**成績返却後の事後反省を充実させることの方が大事なのです**。特に、3年生は、秋以降は模試が続き、心身ともに苦しくなると思いますが、**結果に一喜一憂することなく、しっかり結果を自己分析し、弱点を着実に強化していくことに努めましょう。**

■ 全国模試を受験する目的

- ① 現在の各教科・科目の実力を知る。
- ② 全国（及び各志望校）における自分の位置を知る。
- ③ 模試を今後の勉強の目標とする。



これらの目的を達成するためには、模試返却後の取り組みが大事です。以下に示すような事後反省をしていきましょう。

1 現在の実力を的確に『自己分析』する

結果を受け取ったら、どんな結果であれ、現実から目をそむけるのを止め、事実を謙虚に受け入れましょう。悪い結果を前にただ落ち込んでいるだけでは、問題は何も解決されません。「今の結果の原因は何か」、「今後、何をすればよいのか」など、しっかり考え、すみやかに行動を起こすべきなのです。特に3年生については、ただ漠然とした不安に浸っているだけではいけません。残された時間は、まだまだたくさんありますから、焦らず1つずつ問題を解決していきましょう。

全員、まずは、自分の現在の状況を正しく理解することから始めましょう。模試の結果は、現時点での「実力」と「全国（志望校）での位置」を教えてください。どうしても「偏差値」、「校内順位」、「合

否判定」に目が向きがちですが、それだけでは模試の効果は半減してしまいます。以下に示すような観点で、成績結果を活用できるようになりましょう。

3年生は言うに及ばず、1、2年生のうちから、自分自身で現在の実力を的確に自己分析できるようになるべきです。そのうえで、弱点強化に向けた勉強を行っていくのです。



① 『分野別得点率』を見て 自分の弱点をつかむ

成績表の中の、各科目の分野（設問）ごとの得点率を確認しましょう。そして、全国平均や同一大学の志望者の平均に対して、自分がどれだけ優れているのか、劣っているのかをしっかりと把握します。得点率が低い分野があれば、そこがあなたの弱点であり、最優先で克服すべき課題だと言えます。

模試の自己分析をしっかり行える人は、つねに自分の苦手分野を把握しているので、速やかに適切な勉強を開始することができるのです。

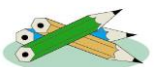
② 「傾斜配点・試験科目」による判定の差を確認する

国公立大志望者 “二次出願パターン” を戦略的に研究

特に3年生の国公立大志望者に関しては、マーク模試（仮想「共通テスト」）と記述模試（仮想「二次試験」）との「ドッキング判定」が出ています。同じような偏差値帯の大学でも、受験科目やその配点によって、判定に微妙な差があります。大学ごとに、入試科目や配点はさまざまなので、同じ共通テストの結果でも出願の仕方だけで合否に違いが出ることを理解しておきましょう。ゆえに、あらかじめ、自分によって有利な傾斜配点となっている大学をいくつか探しておくといいでしょう。例えば、以下のように、共通テストの結果や二次試験の科目等に応じた「出願パターン」を、戦略的に何通りか作っておくことを勧めます。

■ 共通テストの結果に応じた「二次出願パターン」の例

- 第1志望（共通テストで目標点を越えた場合）
前期日程：A大学 ○○学部 □□学科 後期日程：B大学 ○○学部 ××学科
- 第2志望（共通テストで目標点を少し下回った場合）
前期日程：B大学 ○○学部 ××学科 後期日程：C大学 ○○学部 △△学科
- 第3志望（共通テストで目標点を大きく下回った場合）
前期日程：C大学 ○○学部 △△学科 後期日程：D大学 ●●学部 ▲▲学科
（ * 前期日程の難易度ランキング：A大>B大>C大>D大 ）



この他にも、一部の公立大（高崎経済大や新潟県立大など）で実施している「中期日程」や「独自日程（前・中・後期日程とは別日程で併願可能）の大学の利用も検討しておくといいでしょう。

2 弱点強化に向け 速やかに勉強を開始する

自分の強化すべきポイントが把握できたら、すぐに勉強に取り掛かりましょう。「できない」と分かっている分野の問題は、絶対に放置してはいけません。たとえ、今回の模試の結果が最悪だったとしても、ここで克服ができれば、最終的な目的は達成されるのです。早速、行動を起こしましょう！

3 次の模試を学習の目標に設定する

部活動において、練習試合によって日頃の練習の成果を確認すると同様に、学習に関しても、模試によって学力の状況を確認していきます。特に3年生は、9月以降、毎週のように全国模試を受験していきます。事前と事後の復習を計画的に進めていきましょう。

■ 今後の全国模試と定期考査の日程（8～12月）

【全国模試】

3 学年

- 8月21日（金）・22日（土） 全統マーク模試
- 9月11日（金）・12日（土） 進研・駿台共催共通テスト模試
- 10月 2日（金）・ 3日（土） 全統マーク模試
- 10月 9日（金）・10日（土） 進研・駿台共催記述模試
(→9月共催共通テスト模試とのドッキング判定)
- 10月16日（金）・17日（土） 全統記述模試
(→10月全統マーク模試とのドッキング判定)
- (11月 東北大等の難関大オープン模試（希望者）
東北大などの難関大希望者を対象に、各大学の二次試験に対応した模試を受験する。

☆ 記述模試の結果は国公立大の出願先を決める重要データ

10月の2つの記述模試の結果は今後の進路選択にかなり重要なデータとなる。それぞれを「仮想国公立二次試験」として、これらの結果と1月の共通テストの自己採点結果とのドッキング判定を行う。そして、そのデータを基に、国公立大の「二次出願先」を決定していくことになる。特に、国公立大二次試験や私大試験に記述式の教科試験が課される人はこれら模試を目標にして、国公立大二次試験と私大試験に必要な実力（記述力）を増強できるよう、計画的に勉強を進めておいてほしい。

- 10月30日（金）・31日（土） 進研・駿台共通テスト模試
- 11月27日（金）・28日（土） 全統センター試験プレテスト
(校内で受験する最後のマーク模試)

2 学年

- 8月22日（土） 全統記述模試
- 10月30日（金）・31日（土） 進研記述模試（ここから先は「5教科型」になる）

1 学年

- 8月22日（土） 全統記述模試
- 10月31日（土） 進研記述模試（国数英）

【前期期末考査】

- 9月15日（火）～18日（金）
3年生にとっては、前期末までの成績が、推薦・AO入試の際の調査書に記載される3年次の成績となる。

【後期中間考査】

- 11月12日（木）～17日（火）

◆ 国公立大入試（令和3年度）の日程（一般入試の概要）

